

私と庭

荒井 奈緒子 福島県田村郡 六十一歳

毎日夜の仕事に、あくせくしている私は、日曜日の庭が好き。一日中ぼんやりと過せる私だけの時間。イングリッシュガーデンには程遠い庭だけれど、私と一緒に生きてきた愛しい木々達は、散り散りに居すわっている。

木陰を求めて抱擁力のある椅子に、どっぷりと腰を掛け、片手に飲料水を握り、陽水の歌をスイッチオン。私の世界はスタートする。

空を仰ぐと私の体は空色になり、空を飛んでる様だ。今度生まれてきたら鳥になるのもいいかも知れない…。

神社の神木は、年々空を侵略し続ける怪物だ。空に木が生えてる様だ。偉大なる生命力。神様宿ってる。合掌。

鳥は歌い、風が吹く。なんて幸せ！とても素直になれる。

西の空が夕焼けで茜色に染まる頃、昔、絵本で見た夕焼けと重なる。夕焼けは、幸せ色。「今日も一日が終っていくんだな」と、ちよつと寂しくて、ちよつとオセンチになる。こんなにきれいなオレンジ色を黒く塗り潰さないで！夕焼けは、お日様が「また明日」と言ってるのね。絵本作家になった気分。

自然に溶け込んだ一日。ありがとう！心の散歩楽しかった。楽しくて迷子になりそうだった。空まで飛んだのだから。

私の庭は、心の庭。心の透析。慰やされて私の心はクリアーになる。

明日からも、頑張れそう。I Love my garden.